

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第5報 (6月22日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年6月23日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(全道)	生育は、平年並に推移している(遅1日)。草丈は27.3cmでやや短く(平年差-1.9cm)、葉数は6.6枚で平年並(平年差-0.2枚)、葉数は198本/m ² で少ない(平年差-27本)。(北海道農政部 6月15日現在)	・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イネドロオムシとフタオビコヤガの発生期はやや早く、発生量は少の予報(北海道病害虫防除所 5月31日公表)
(生育)	(空知) 6月上旬の低温や日照不足により、生育はやや停滞したが、平年並に進んでいる(遅1日)。草丈、葉数は平年並、葉数はやや少。(空知総合振興局 6月15日現在) (石狩) 草丈は平年並、葉数はやや多く、葉数は多い。葉数はほ場間差がある(早3日)。(石狩総合振興局 6月15日現在) (後志) 草丈、葉数は平年並、葉数は少ない(遅2日)。(後志総合振興局 6月15日現在) (胆振) 草丈、葉数は平年並、葉数は多い。生育は平年並。(胆振総合振興局 6月15日現在) (日高) 草丈、葉数は平年並、葉数は少ない。生育は平年並(遅2日)。(日高総合振興局 6月15日現在) (渡島) 草丈は平年並、葉数はやや少、葉数は少。生育は平年並に推移(遅1日)。(渡島総合振興局 6月15日現在) (檜山) 草丈はやや短、葉数はやや少、葉数は少ない。生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。(檜山振興局 6月15日現在) (上川) 草丈は短、葉数はやや少、葉数は少。生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。(上川総合振興局 6月15日現在) (留萌) 草丈はやや短、葉数は平年並、葉数はやや少。生育は平年並に進んでいる(早1日)。(留萌振興局 6月15日現在) (オホーツク) 草丈は短い、葉数は平年並、葉数は少ない。低温・曇照により生育はやや停滞した。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)		
青森	(生育)	<6月20日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が32.5cmで平年より4.3cm短く、株当たり葉数は15.6本で平年より2.2本少なく、葉齢は7.2葉で平年より0.5葉少なかった。また、「青天の霹靂」は草丈が35.3cmで前年より6.8cm短く、株当たり葉数は15.2本で前年より2.5本少なく、葉齢は6.9葉で前年より0.2葉少なかった。 ・十和町の「まっしくら」は、草丈が43.0cmで平年より1.4cm短く、株当たり葉数は15.7本で概ね平年並、葉齢は7.6葉で平年並であった。(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)	・6月のイネミスズウムシの発生量は平年並、イネドロオムシはやや少ないと予想される。(青森県病害虫防除所 5月31日公表)
岩手	(生育)	・6月15日現在、県全体の生育は、草丈28.6cmで平年より1.7cm短く、葉数は222本/m ² で平年より少ない(平年比84%)。葉数は6.3葉で平年より少ない(平年差-0.3葉)。(中央農業改良普及センター県域普及グループ 6月15日調査) ・6月15日現在、農業研究センター(北上)の草丈は、概ね平年並みであり、葉数、葉齢とも平年を下回っている。県北農業研究所(軽米)では、草丈、葉数、葉齢とも平年を下回っている。(岩手県農業研究センター 6月16日付)	・6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並の予報。イネミスズウムシ、イネドロオムシの発生量は少の予報。斑点米カメムシ類(アカスジカスミカ)のふ化が早まっており、県中南部では既にふ化盛期を迎えている。(岩手県病害虫防除所 5月31日付)
宮城	(生育)	・6月20日現在の生育は、平年に比べて2日程度遅くなっている。草丈は30.8cm(平年比82%)、1m ² 当たり葉数は376本(平年比96%)、葉数は18.1枚(平年差-0.3枚)、葉色はGM値が40.0(平年差-3.1)となっている。(県全体の平均)(宮城県 6月21日付) (大崎) 6月20日現在、生育はやや平年を下回っている。県全体(ひとめぼれ、ササニシキ、まなむすめの生育調査ほ34地点)の平均値では、草丈は30.8cm(平年比82%)で平年に比べ短い。葉数の平均値は376本/m ² (平年比96%)で、北部平坦のササニシキ及び西部丘陵のまなむすめは平年に比べて多く、その他の地点・品種は平年に比べて少ない。葉数は8.1枚(平年差-0.3枚)で平年を下回っている。葉色(SPAD)は40.0(平年差-3.0)で、全体的に平年と比べて平年において、平年に比べ濃い傾向にある。(大崎農業改良普及センター 6月22日付) (本吉) 6月20日現在、生育調査ほ(ひとめぼれ)では、草丈、葉数は平年より少なく、葉数は平年より0.8枚少なく、葉色はやや淡く、葉齢は遅れている。稲3稈期入谷の生育調査ほ(ササニシキ)では、草丈、葉数は平年より少なく、葉数は平年より0.3枚少なく、葉色はやや淡く推移している。管内の生育については、平年よりやや遅れて経過している。直轄栽培普及展示ほの生育調査(鉄コーティング湛水直播)は、草丈は平年並、葉数は平年の2倍程度、葉数は平年並+1.1枚と生育は順調に進んでいる。(宮城県本吉農業改良普及センター 6月21日付) (登米) 6月20日現在の生育状況は、平年に比べ草丈は短め、葉数は平年並だがほ場によりバラツキがみられる。葉数は少なめで生育はやや遅れ、葉色はやや淡め。6月に入り、日平均気温が平年より低い日が続いていることから、生育は引き続き平年より遅れている。直轄栽培ほの生育状況は、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、やや短め。葉数はほ場によりバラツキがみられるが、やや少ない。葉数は少なめで、生育はやや遅れ、葉色はやや淡め。例年より苗立ちがよかつたため、葉数が多く経過している。葉数から生育は前年より遅れている。(宮城県米づくり推進米産地地方本部米穀改良普及センター 6月22日付) (石巻) 6月9日現在の生育調査ほ(4ヶ所)の生育状況は、移植後、高温多湿が続いたため、葉数、葉数は平年より進んでいる傾向だったが、6月上旬の低温曇照により、生育は移植後を除いて平年よりやや遅れた。また、葉色は、移植後を除いてやや低くなった。新田直轄展示ほの生育状況は、草丈・葉数は移植後の数値により、苗立ち数が少なく、出芽揃いも遅れたため、平年より少く推移しているが、葉数は平年並となった。だて正夢展示ほの生育状況は、ひとめぼれと比較して、葉数が確保しづらい品種であることから、生育調査ほのひとめぼれと比べると葉数は51%と少なく推移している。(石巻農業改良普及センター石巻地方づくり推進本部 6月19日付) (仙台) 6月9日現在、ひとめぼれ及びササニシキの生育は、葉数から判断して平年より1~2日程度遅くなっている。葉数は、平年よりやや少なめになっている。ひとめぼれ(管内平均)の草丈は29.9cm(平年比101%)、葉数は225本/m ² (平年比96%)、増加葉数(前調査からの増加分)は79本/m ² (平年比68%)、葉数は6.9枚(平年差-0.2枚)、葉色(GM値)は36.7(平年差-2.7)。ササニシキ(管内平均)の草丈は27.4cm(平年比95%)、葉数は177本/m ² (平年比97%)、増加葉数は85本/m ² (平年比88%)、葉数は6.9枚(平年差+0.3枚)、葉色(GM値)は34.7(平年差-3.5)。(宮城県仙台農業改良普及センター 6月14日付) (栗原) 6月9日現在、ひとめぼれの生育調査ほ3ほ場の生育は概ね順調で、葉数からみると生育はほぼ平年並に進んでいる。草丈は平年並(平年比100%)、葉数はほ場間差が大きく、平年より少ない~多い(平年比75~164%)、葉数はほぼ平年並(平年差-0.1枚)、葉色は平年よりやや淡い(平年比94%)。(栗原農業改良普及センター 6月12日付) (美里) 6月9日現在、草丈は前年および平年より長く、葉数は前年および平年より大幅に少ない。葉色は前年および平年よりかなり淡く、葉数は満谷ひとめぼれでは前年および平年より進捗が遅い。直轄栽培(鉄コーティング湛水直播)の小牛田のひとめぼれは、苗立本数は86本/m ² (前年比130%)、草丈は17.6cm(前年比125%)、葉数は86.2/m ² (前年比86%)、葉数は3.8枚(前年差-0.5枚)。(美里農業改良普及センター 6月12日付)	・6月下旬までの発生予報は、葉いもちの発生量は平年並、イネドロオムシの発生量は少の予報。(宮城県病害虫防除所 6月6日公表)
秋田	(由利)	6月9日の水稲定植調査結果(3品種・移植8ヶ所平均)によると、草丈は24.6cmで平年よりやや短く(平年比94%)、m ² あたり葉数は148本で平年より少なく(平年比67%)、葉数は5.6葉(平年差-0.7葉)と、6月の低温の影響で生育は平年より遅くなっている。(6月16日付)	・6月の病害虫発生量予報 葉いもちは平年並、ばか苗病はやや少ない、イネミスズウムシは平年並、イネヒボソハムシは少ない、イネミヅフムシはやや少ない、ニカメイガは少ない、アカスジカスミカメは多い(前年並)、アカヒゲホムシドリカスミカメは平年並、フタオビコヤガは少ない(秋田県病害虫防除所 5月26日公表)
(雄勝)	6月10日現在のあきたこまちの生育状況(管内ほ場8ヶ所平均)は、草丈21.2cm(平年比86%)、草丈89本/m ² (同81%)、葉数5.3葉(同-0.5枚)となっている。曇天と低温の影響により、生育はやや遅れている。(6月16日付)		
(秋田)	6月10日現在のあきたこまち(10地点平均)の草丈は24.8cmで平年の95%と平年より短く、1m ² 当たり葉数は130本で平年の73%と平年より少なく、葉数は5.9葉で平年より0.6葉少なく、生育は平年より遅くなっている。(6月16日付)		
(生育)	(仙北) 6月10日現在の生育状況は、草丈22.9cm(平年比93%)、葉数109本/m ² (同76%)、葉数5.2葉(同-0.6)で、6月上旬の低温により生育が遅れている。(6月16日付) (平鹿) 移植作業の終期は平年より1日早い5月30日となり、5月30日現在の移植作業の進捗率は98.7%となっている。(6月2日付) (北秋田) 5月30日現在の田植作業は、98%の進捗となっており、終期は、平年並の5月28日となった。生育は概ね順調。(6月2日付) (鹿角) 耕起の5月10日現在の進捗状況は89.5%で5月4日(平年5月7日)に盛期を迎えた。(5月12日付)(秋田県農林政策課)		

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
山形	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比較して2日程度の遅れで、生育量はやや少ない状況が続いていたが、天候の回復に伴って生育も回復傾向になっている。草丈は平年より短い、葉数は平年より少ない、葉色は2日程度の遅れ、葉色は平年より濃い。 6月20日現在の「つや姫」の生育は、分げつの発生がやや遅れているので、引き続き灌水管理により葉数の確保に努めるよう指導。草丈は平年より短い、葉数は平年より少ない、葉数は3日程度の遅れ、葉色は平年より濃い。(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日付) <p>(東南村山) 生育は平年と比較してやや遅れている。6月20日現在、葉数展開の遅れに伴い、葉数はやや少ない状況。特に本田移植が遅れた圃場では、分げつの発生が平年より少ない。(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>6月9日現在のつや姫は、低温等の影響で葉数は少なく推移している。(山形つや姫ブランド北栽培推進本部村山地域本部村山農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(置 賜) 低温の影響で葉数の発生が少ない状況。6月20日現在農業技術普及課生育診断では、生育はやや遅れているが、回復基調にある。平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は短い、葉数は少ない、葉数は平年並～やや少ない。平坦部「つや姫」の生育は、草丈は短い、葉数は少ない、葉数は平年並。(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月20日付)</p> <p>(酒 田) 6月20日現在、「つや姫」の生育は、低温と日照不足により、生育が遅れているが、まだ分げつが期待できる葉齢。草丈は「やや短い」、葉数は「少ない」(増加中)、葉数の展開は「5日程度遅い」、葉色は「やや濃い」。現在、分げつの盛期を迎える時期だが、生育が遅れて葉数が不足し、葉色が低下している圃場が多く見られる。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>6月9日現在、はえぬきの草丈は「長く」、葉数は「やや少なく」、葉数、葉色は「平年並」。ひとめぼれの草丈は「長く」、葉数、葉数は「平年並」、つや姫の草丈は「平年並」、葉数は「少なく」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(北 村 山) 6月15日現在の平坦部「はえぬき」(村山市河島)は、平年に比べて葉数が非常に少ない生育となっている。5月末の高温による「ワキ」と、その後の低温の影響で、平年より生育が滞っている。水交換をせず水を張ったまま灌水管理をしている圃場では特に、生育不良が多く見られる。(北村山農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(鶴岡田川) つや姫の6月14日の調査結果は、草丈は平年に比べやや短く、葉数は少なく、葉数は3日程度遅れ、葉色は並～やや遅く経過している。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>生育調査の6月9日の生育は、草丈は長く、葉数は平年並～少ない、葉数は圃場によりばらつきがみられる。6月初めの低温強風の影響から、分げつの発生が少ない圃場、葉色が淡く葉の傷みが見られる圃場が見受けられる。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日付)</p> <p>(最 上) 6月上旬の極端な低温の影響により、6月9日現在、葉数増加が抑制されている圃場が多くなっている。(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報(山形県病害虫防除所 5月31日公表)
福島	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月13日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)の草丈、葉数、会津地域研(会津坂下)の葉数が平年を下回っている。各調査地点ともに主稈葉数は平年より0.2~1.0枚少なく、生育は最大4~5日程度の遅れとなっている。また、葉色は平年より濃い。(福島県農林水産部 6月14日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 葉いもちの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生時期は早く発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量はやや少と予報(福島県病害虫防除所 5月26日公表)
茨城	<p>(生育)</p> <p>(水戸市) 6月9日現在、主稈葉数の展開からみた生育は、5月1日移植の「あきたこまち」が3日程度遅く、「コシヒカリ」が1日程度遅い。両品種ともに草丈はやや短く、葉数は平年並、葉色は平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月12日付)</p> <p>(龍ヶ崎市) 6月8日現在、4月27日移植の「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、それぞれ平年より5日、4日早い。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」で極く長く、「コシヒカリ」で長い。両品種とも葉色は平年並。5月8日移植の「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、それぞれ平年より5日、3日早い。平年に比べ、両品種の草丈は長く、葉色は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」でやや濃い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報(農林水産省 6月14日付) 県西地域、県南の一部地域でイネ縹葉枯病の発生量が多いと予報(茨城県病害虫防除所 6月12日公表) 6月の縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生量は県西地域、県南の一部地域で多く、ニカメイガの発生量は県下全域でやや多いと予報(茨城県病害虫防除所 5月31日公表)
栃木	<p>(生育)</p> <p><早稲栽培コシヒカリの6月8日調査結果(16か所平均)> 草丈は高く(平年比107%)、葉数はやや多く(102%)、葉齢は0.2葉多く、葉色は0.5濃い。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比90%と小さい。(栃木県農政部 6月9日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月下旬~7月下旬の縹葉枯病の発生量はやや多いと予報(栃木県農業環境指導センター 6月16日公表) 関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報(農林水産省 6月14日付)
埼玉	<p>(生育)</p> <p><センター内生育相> ・早期栽培(5月2日植 コシヒカリ)の育苗期間は、平年並から高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であった。移植後から高温・多照で経過したため、葉位の進展は早く推移しており、生育量は多く、順調な生育である。 ・早稲栽培(5月19日植 影のかがやき)の育苗期間は、平年に比べて高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であり、その後の生育も順調である。 <県内全般> ・早期・早稲栽培とも田植作業は好天に恵まれ平年同様順調に進捗し、活着は良好で初期生育は順調である。(埼玉県農業技術研究センター 6月2日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報(農林水産省 6月14日付) 6月の葉いもちの発生量はやや多、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシとヒメトビウンカの発生量はやや少、縹葉枯病の発生量はやや多の予報(埼玉県病害虫防除所 5月29日公表)
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月14日現在、4月20日頃に植付したうち品種は平年と比較して4日程度早く生育しているが、生育量は平年並となっている。「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期は平年と比較して4日程度早く、今後「コシヒカリ」も4日程度早くなる見込み。(千葉県農林水産部 6月16日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報(農林水産省 6月14日付) 向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病(葉いもち)、ほか苗病は平年並、イネドロオウムシは少、ジャンボタニシはやや多、イネクワカメムシは平年並、ヒメトビウンカはやや多、セジロウンカはやや少の予報(千葉県農林総合研究センター 6月14日公表)

	<p style="text-align: center;">平年に対する遅速等</p>	<p style="text-align: center;">同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）</p>
<p>新潟</p>	<p>・6月20日現在、コシヒカリは、県平均では指標値（理想的な生育めやす）に比べ、草丈は「短い」、葉数は「並」、葉色の進みは「並」、葉色は「やや淡い」状況。こしいぶきは、県平均では指標値に比べ、草丈は「短い」、葉数は「並」、葉色の進みは「並」、葉色は「並」の状況。ただし、田植えの時期や標高によっては生育が遅れているほ場も散見される。 （新潟県農林水産部 6月21日付）</p> <p>(岩 船) 6月20日現在、草丈は短く、葉数は少ない、葉色はやや薄い、葉色はやや淡い、6月の低温により葉数の進みが鈍化し、コシヒカリは指標値に比べ3日程度遅れている。草丈は、現在の完全展葉期が早く前同調査と同程度。地味差・環境差はあるものの、葉数は全般的に少ないが、コシヒカリでは中上・開始時期に遅れているほ場が多い。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は30cm（指標比82%）、葉数は256本/m²（指標比77%）、葉数は7.7葉（指標差-0.6葉）、葉色（SPAD値）は35.4（指標差-2.6）。 （村上農業普及指導センター 6月20日現在）</p> <p>(新発田) コシヒカリの生育状況（6月20日調査）は、草丈は32cmで指標比95%（やや短）、葉数は360本/m²で指標比103%（並）、葉数は8.4葉で指標差+0.1葉（並）、葉色は葉緑素計37.8で指標差+0.3（並）。 6月上中旬の低温傾向により、現在生育は遅れ気味、草丈の伸長も鈍化し、指標値に比べ草丈はやや短く、葉数・葉色は並になっている。（新発田農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(新潟) 6月20日調査のコシヒカリ（調査地点9）の生育状況は、目標に比べて、草丈は33cmで「短い」（目標比83%）、葉数は374本/m²で「並」（目標比99%）、葉数は8.3葉で葉数の進みは「やや遅い」（目標差-0.6葉）、葉色（SPAD値）は37.5で「やや淡い」（目標差-1.2）。6月2日以降は低温の日が多く、草丈・葉数の増加は少ない。こしいぶき（調査地点2）の草丈は32cmで目標比90%、葉数は456本/m²で目標比97%、葉数は9.0葉で目標差-0.1葉、葉色（SPAD値）は41.8で目標差+1.8。新之助の草丈は28cmで目標比82%、葉数は306本/m²で目標比75%、葉数は8.2葉で目標差-1.3葉、葉色（SPAD値）は38.2で目標差-1.8。（新潟県農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(三条) 生育は、低温傾向により引き続き停滞気味。指標値に比べ「草丈短、葉数少、葉色やや淡」と引き続き遅延となっている。しかし、近年値と比べると葉数は「やや少ない（近年比95%）」程度。6月20日の調査結果（管内コシヒカリ35ヶ所、こしいぶき9ヶ所平均）は、コシヒカリの草丈は33cmで指標比83%、葉数は384本/m²で指標比84%、葉数は8.4葉で指標差-0.2葉、葉色は38.9で指標差-1.1。こしいぶきの草丈は31cmで指標比81%、葉数は405本/m²で指標比88%、葉数は8.5葉で指標差-0.7葉、葉色は41.2で指標差-0.3。 （三条農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(長岡) 6月20日現在の生育は、指標値に比べ、草丈は短く、葉数はやや少、葉数・葉色は並となっている。コシヒカリの生育は指標値に比べ、草丈は88%、葉数は91%、葉数は+0.0葉、葉色（SPAD）は-0.2である。 （長岡農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(魚沼) 6月20日のコシヒカリ生育調査結果（4地点平均値）は、草丈31cm（指標値比84%）、葉数356本/m²（指標値比102%）、葉数8.1葉（指標値差+0.1葉）、葉色（SPAD値）39.0（指標値差+1.0）。草丈は短いが、葉数、葉色は指標値並。5月下旬の田植えほ場や標高の高いほ場などは、生育のほ場間差が大きい。 （魚沼農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(十日町) 6月20日現在の生育は、田植え時期の違いによる生育差が大きく、5月15日頃までに移植されたほ場は葉色濃く、分けつ発生既済ですが、5月下旬以降に移植されたほ場は、葉数・葉色の回復は見られるものまだ少なく、葉数は少ない傾向。（十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月20日付）</p> <p>(柏崎) 6月20日現在、こしいぶきとコシヒカリともに、やや生育が遅れている。指標値と比較して、草丈・短、葉数、やや少、葉数、やや遅、葉色・並、こしいぶき（3ヶ所平均）の生育状況は、草丈は29cmで指標比82%、葉数は394本/m²で指標比89%、葉数は8.6葉で指標差-0.2葉、葉色（SPAD）は41.6で指標差+1.6。コシヒカリ（6ヶ所平均）の生育状況は、草丈は32cmで指標比84%、葉数は362本/m²で指標比95%、葉数は8.3葉で指標差-0.2葉、葉色（SPAD）は38.3で指標差+0.3。（柏崎農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>6月20日現在の新之助の生育は、調査ほ平均は指標値と比べ、初期の水管理の影響等で、生育が1〜4日程度遅れており、草丈は短く、葉色は概ね並の状態、葉数は生育が遅れていることから少ないが、現在、小さな分けつが発生中。（柏崎農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(上越) 6月20日現在、「コシヒカリ」の生育は、低温が続いているため、草丈（指標値比98%）、葉数（指標値差+0.3葉）、葉色（SPAD値-0.3）は指標値並だが、葉数（指標値比130%）は依然として多くなっている。高標高地や5月下旬に移植されたほ場では低温の影響が大きくなっている。「こしいぶき」の草丈は短く、葉数が多くなっている。 （上越農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(佐渡) 6月20日現在、これまでの低温により生育が抑制され、草丈は短く、葉色も淡い傾向にあるが、多くのほ場では必要な葉数が確保されている。コシヒカリ（拠点ほ場8ヶ所の平均）の生育状況は、目標値に比べ草丈は32cmで短く（目標値比89%）、葉数は405本/m²で（目標値比112%）で、葉数は8.6葉で並（目標値差-0.4葉）、葉色（SPAD値）は35.6でやや淡い（目標値差-3.4）。（佐渡農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>(糸魚川) 6月8日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2〜23日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は並、葉数は多く、葉数は並、葉色は淡い。5月10日頃までの田植えのほ場は、葉数が指標値よりかなり多くなっている。5月中旬から下旬田植えのほ場は、分けつが発生しているが、5月下旬の高温によるワキや6月上旬の低温により葉色が淡いほ場もみられる。 （糸魚川地域農林振興部 6月9日付）</p> <p>(巻) 6月8日調査の結果、ワキ等により下葉に傷みが見られるほ場が目立っている。6月第1半旬の気温が低く推移したことから、生育量の伸びはやや鈍化し、コシヒカリとこしいぶきでは指標値並となった。そのために葉数はやや少ない状態となっている。（巻農業普及指導センター 6月8日付）</p>	<p>・北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想 （農林水産省 6月14日付）</p> <p>・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ニカメイチュウ第1世代は平年並～やや少ない、ツマグロヨコバイは平年並～やや多い（佐渡では多い）、イネドロオウムシはやや多い、イネミズゾウムシは多いと予報 （新潟県病害虫防除所 5月31日公表）</p>
<p>富山</p>	<p>・生育観測ほデータ（6月20日現在） （てんたくく） 平年に比べて葉齢の展開が遅れており、草丈は38.9cm（平年比84%）で短く、葉数は586本/m²（平年比99%）で平年並、葉色（SPAD値）は40.2（平年差-1.2）でやや淡い。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数は並、葉色はやや淡く推移している。葉齢から予測すると、幼穂形成期は、平年より3日程度遅い3月15日頃と見込まれる。</p> <p>(コシヒカリ) 平年に比べて葉齢の展開が遅れており、草丈は33.6cm（平年比82%）で短く、葉数は455本/m²（平年比97%）、葉色（SPAD値）は39.5（平年差-0.8）で平年並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数はやや多く、葉色は並で推移している。幼穂形成期は、平年より3日程度遅い7月15日頃と見込まれる。</p> <p>(てんこもり) 平年に比べて葉齢の展開が遅れており、草丈は30.4cm（平年比84%）で短く、葉数は28.7本/m²（平年比94%）でやや少なく、葉色（SPAD値）は39.6（平年差-2.2）で並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数はやや多く、葉色はやや淡く推移している。幼穂形成期は、平年より3日程度遅い7月18日頃と見込まれる。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月20日付）</p> <p>・直播栽培の生育状況（6月19日現在） 湛水上直播栽培（カルバー）は、平年に比べて草丈は短く、葉数はやや多く、葉色はやや淡くなっている。葉齢の展開は平年より0.2葉程度遅れており、生育は平年に比べ1日程度遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数はやや多く、葉色はやや淡く推移している。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）（6月19日現在） 近年に比べて草丈はかなり短く、葉数はやや少なく、葉色は並に推移している。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、葉数、葉色は近年並に推移している。</p> <p>・乾田V 湛水直播栽培（6月19日現在） 平年に比べて草丈は短く、葉数はかなり多く、葉色は並となっている。葉齢は平年と同程度で、生育ステージは平年並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、葉数はかなり多く推移している。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月19日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類（アスジカミカメ等）の生息数が水田内および畦畔において多く、斑点米被害の増加が懸念される。 （富山県農林水産総合技術センター 6月22日公表）</p> <p>・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は多い、アカヒゲソノドリカメムシはやや多い、アスジカミカメ、トゲハラシカメムシは平年並、ニカメイチュウは発生時期が早く発生量は平年並（局部多い）、イネミズゾウムシは平年並、イネドロオウムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報 （富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表）</p> <p>・北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想 （農林水産省 6月14日付）</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
石川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草丈は、コシヒカリは平年比76～101%（県平均:88%、加賀:90%、能登:85%）、と平年及び前年に比べ短い。ゆめみずほは、近年比75～95%（県平均:88%、加賀:87%、能登:91%）と加賀地域は近年並で前年より短く、能登地域は近年よりやや短く、前年より短い。 ・ 茎数は、コシヒカリは平年比63～139%（県平均:97%、加賀:101%、能登:92%）と平年及び前年並。ゆめみずほは、近年比73～139%（県平均:100%、加賀:98%、能登:107%）と近年及び前年並。 ・ 葉齢は、コシヒカリは平年比89～109%（県平均:96%、加賀:102%、能登:104%）、ゆめみずほは近年比89～103%（県平均:97%、加賀:103%、能登:103%） ・ 葉齢展開は、コシヒカリは平年に比べ加賀地域で1日程度、能登地域では3日程度遅い。ゆめみずほは加賀地域、能登地域とも近年に比べ1～2日程度遅い。 ・ 葉色の発現は、コシヒカリ、ゆめみずほとも平年並。 <p>（農林総合研究センター 6月19日調査）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月下旬～7月中旬の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類は多、セジロウカとコブメイガは平年並、フタオビコヤガは平年並と予報（石川県農林総合技術センター 6月15日公表） ・ 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が（農林水産省 6月14日付）
福井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月15日調査の結果、6月に入ってからの低温により、全般に生育が遅れ、コシヒカリでは葉色が薄い、コシヒカリでも日稔茎数を確保できている圃場もある。 <p>（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月16日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年より多い、紋枯病は平年並、ニカメイガは平年よりやや多い、イネミズゾウムシは平年より少ない、イネゾウムシは平年並、イネクビソウムシは平年より少ない、イネヒメハモグリバエは平年並の予報（福井県農業試験場病害虫防除室 6月1日公表）
長野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月15日現在、豊科定点圃場では、草丈は平年並～やや短く、茎数は平年並～やや多い傾向。コシヒカリの草丈は30cm（平年比100%）、茎数は333本/m²（平年比97%）、あきたこまちの草丈は27cm（平年比93%）、茎数は316本/m²（平年比107%）。活着は良好だったが、5月の高温の影響で「ガスわき」が発生し、根の傷みから下葉の黄化や葉先枯れが目立つ。 ・ 生育は平年より2～3日遅いと推定される。平坦地であきたこまちを5月上旬に移植した圃場では、6月末～7月上旬より幼穂形成期を迎えることが予想される。 <p>（松本農業改良普及センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月8日調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高348m））の移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも葉数、草丈、茎数は平年並である。（長野県農業試験場 6月11日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月15日からの向こう1か月間、葉いもち、縞葉枯病・黒条萎縮病、ツマグロヨコバイ類[回成虫（黄萎病）]の発生量は平年並、ニカメイチュウ 第1世代幼虫の発生量はやや少、イナゴ、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシの発生量は平年並の予報（長野県病害虫防除所 6月15日公表）
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・ みずかかみの生育ステージは、昨年と同程度～やや遅い状況となっている。 <p>（滋賀県農業技術振興センター 6月19日付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月31日現在の「コシヒカリ」、「秋の詩」の生育は状況は、移植後は気温が高く経過したことから、活着は良好であった。草丈は、両品種ともに平年並。茎数は、両品種ともに平年よりかなり多かった（平年の約1.3倍）。葉数は、「コシヒカリ」が0.5枚、「秋の詩」が平年より0.7枚多かった。 ・ 県内の状況は、移植の早い圃場では生育はやや旺盛となっているものも、全般には平年並となっている。 ・ 5月上旬移植の「みずかかみ」は中干し開始時期を迎えている。 <p>（滋賀県農業技術振興センター 6月6日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月15日からの向こう1か月間、葉いもち、紋枯病の発生量は平年並、コバエナゴの発生量はやや少と予報（滋賀県病害虫防除所 6月20日公表）
兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月1日現在、東北は本田での生育はほぼ順調である。県南は苗の生育は順調である。 <p>（兵庫県農政環境部 6月1日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並、ヒメトビウカ（縞葉枯病）の発生量はやや多、セジロウカ、トビウカの発生量は平年並の予報（兵庫県病害虫防除所 5月30日公表）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量は少、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報（岡山県病害虫防除所 6月1日公表）
広島		
山口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月上旬の移植では、茎数は昨年とほぼ同様の状況。5月下旬以降移植分の活着は良好。移植後の高温、根腐みでの葉の黄化などが一部みられる。移植して深水が続いている（株元が黒くなっている）ところは、徒長気味の生育になっている。（JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月12日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月のイネ縞葉枯病（ヒメトビウカ媒介）の発生量は平年並の予報（山口県病害虫防除所 6月1日公表）
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月は普通期水稲の田植え時である。高温登熟障害を回避するため極端な早植えは避けるよう指導。平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノカリが6月中下旬。 <p>（愛媛県農林水産研究所 6月8日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の葉いもち、ウヅカ・ヨコバイ類の発生量は平年並の予報（愛媛県 5月31日公表）
高知	<p>< 早期水稲の生育状況（5月30日時点） ></p> <p>生育進捗は4月5日植え南国そだちとコシヒカリではやや遅れ気味だが、4月14日植えコシヒカリでは平年並となった。全体的に茎数が多いが、問題なく生育している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月5日植えの南国そだちは、草丈は平年より高く、茎数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年よりやや遅くなっている。 ・ 4月5日植えのコシヒカリは、草丈は平年より高く、茎数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年よりやや遅くなっている。 ・ 4月14日植えのコシヒカリは、草丈は平年より高く、茎数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年並となっている。（高知県農業技術センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多く、県東部と県中西部ではやや少ない、セジロウカは平年並、ヒメトビウカはやや少の予報（高知県病害虫防除所 6月6日公表）
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。苗の活着や初期生育は良好。 ・ 普通期水稲は、5月15日現在、6月上旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。出穂移行の高温を想定し、「夢つくし」の田植えは6月上旬、「ヒノカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。 <p>（福岡県農林業総合試験場 平成29年5月15日現在（専技情報より抜粋））</p>	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の早期・早植水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報（熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 向こう1か月間の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月19日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月1～5日に行った調査の結果、早期水稲地帯（県本土）では出穂期以降に斑点米カメムシ類の発生量がやや多いと予報（鹿児島県病害虫防除所 6月6日公表） ・ 6月の早期水稲のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は平年並の予報（鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		参考			自主的取組参考値（深堀）	↑		
		平成29年度	前年度との比較	増減率				
全 国	<p>・6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温は、北・東日本では平年並か高く、西日本ではほぼ平年並の見込み。降水量は、西日本太平洋側では多く、東日本と西日本日本海側では平年並か多く、北日本ではほぼ平年並の見込み。</p> <p>日照時間は、北日本ではほぼ平年並、東・西日本は平年並か少ない見込み。 （気象庁 6月22日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。</p> <p>・7月は、北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本では、天気は数日の周期で変わり、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 6月24日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<p>・北海道地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温は日本海側とオホーツク側はほぼ平年並の見込み。太平洋側では平年並が高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （札幌管区気象台 6月22日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<p>・東北地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （仙台管区気象台 6月22日発表）</p> <p>・東北地方は6月21日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月21日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月22日発表、6月21日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月22日発表、6月21日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月22日発表、6月21日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 6月22日発表、6月21日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 6月22日発表、6月21日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月24日～7月23日の1か月間は、気温は2週目を中心に高く、向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。日照時間は、平年並か少ない見込み。 （気象庁 6月22日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	同上（気象庁 6月22日発表、6月7日発表）	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102	
埼 玉	同上（気象庁 6月22日発表、6月7日発表）	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 6月22日発表、6月7日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<p>・北陸地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （新潟地方気象台 6月22日発表）</p> <p>・北陸地方は6月21日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月21日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 6月22日発表、6月21日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 6月22日発表、6月21日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 6月22日発表、6月21日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<p>・関東甲信地方の6月24日～7月23日の1か月間は、気温は2週目を中心に高く、向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。日照時間は、平年並か少ない見込み。 （気象庁 6月22日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平常並の見込み。降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（大阪管区気象台 6月22日発表）</u> 近畿地方は、6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（大阪管区気象台 6月7日発表） 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月22日発表、6月7日発表）						
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中国地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温は、ほぼ平常並の見込み。降水量は平常並か多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（広島地方気象台 6月22日発表）</u> 中国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（広島地方気象台 6月7日発表） 	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
広 島	同上（広島地方気象台 6月22日発表、6月7日発表）						
山 口	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平常並の見込み。降水量は多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（福岡管区気象台 6月22日発表）</u> 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表） 	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> 四国地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平常並の見込み。降水量は多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（高松地方気象台 6月22日発表）</u> 四国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（高松地方気象台 6月7日発表） 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
高 知	同上（高松地方気象台 6月22日発表、6月7日発表）						
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平常並の見込み。降水量は多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（福岡管区気象台 6月22日発表）</u> 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表） 	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月22日発表、6月6日発表）						
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> 九州南部地方の6月24日～7月23日の1か月間は、平均気温はほぼ平常並の見込み。降水量は多く、日照時間は平常並か少ない見込み。 <u>（鹿児島地方気象台 6月22日発表）</u> 九州南部は6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（鹿児島地方気象台 6月6日発表） 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月22日発表、6月6日発表）						
		185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
		91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
		108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、
平成29年度病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月31日)、
H29水稲作況(6月20日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度水稲生育定期調査結果No.2(6月15日現在)(岩手県農業研究センター 6月16日)、
平成29年度水稲の生育状況(6月15日調査速報)(岩手県中央農業改良普及センター農域普及グループ 6月16日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(6月予報)(岩手県病害虫防除所 5月31日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日)、
平成29年度産水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農林水産部 6月21日)、
平成29年度産大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月22日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月22日)、
稲作情報(Vol.2)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 6月19日)、
平成29年度産気仙沼・南三陸稲作情報第4号(宮城県本吉農業改良普及センター 6月21日)、
仙台稲作情報第2号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月14日)、
栗原の稲作通信平成29年第2号(栗原農業改良普及センター 6月12日)、
平成29年度 美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日)、
平成29年度発生予察情報発生予報第4号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月8日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月16日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月26日)、
米づくり技術情報No.4(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日)、
おいしい米づくり情報緊急号 生育確保編(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 6月22日)、
つや姫通信第2号中干し準備編(村山総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
おきたま米づくり情報No.5(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月20日)、
酒田鮑海つや姫情報緊急号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日)、
酒田・鮑海日本一米づくり情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日)、
稲作だより～第4号水管理緊急号～(北村山農業技術普及課 6月15日)、
おいしい米づくり情報第6号中干し準備編(村山総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月14日)、
つや姫だより第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月15日)、おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日)、
稲作だより第6号本田管理編(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
平成29年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月31日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第3号(福島県農林水産部 6月14日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月26日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月12日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月8日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月12日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月12日)、病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.2(早稲栽培6月8日調査結果)(栃木県 6月12日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月16日)、
平成29年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月7日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月29日)、
水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月16日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター 6月14日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第3号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
H29岩船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター 6月20日)、新発田地域水稲生育速報No.3(新発田農業普及指導センター 6月20日)、
稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月20日)、FAX稲作情報No.6(三条農業普及指導センター 6月20日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月20日)、コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
6/20稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター 6月20日)、
柏崎地域新之助栽培情報No.3(柏崎農業普及指導センター 6月20日)、稲作管理情報No.3(柏崎農業普及指導センター 6月22日)、
平成29年上越地域米 コシヒカリ・こいしぶき 生育速報(6月20日)(上越農業普及指導センター 6月20日)、
平成29年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
平成29年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報NO.2(糸魚川地域農林振興部 平成29年6月9日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月8日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第4号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月20日)、直播情報(第3号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月19日)、
病害虫発生注意報第1号(富山県農林水産総合技術センター 6月22日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 5月31日)、
平成29年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月22日)、
病害虫発生予報第3号(石川県農林総合研究センター 6月15日)、平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場 6月1日)、
稲作情報No.7(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月16日)、
水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 6月11日)、
平成29年作物技術普及情報第9号(松本農業改良普及センター)、
病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
「みずかのみ」栽培だより(滋賀県農業技術振興センター 6月19日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所 6月20日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No1)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月12日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策-作物(愛媛県農林水産研究所 6月8日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県 5月31日)、
平成29年度における早期水稲の生育状況(5月30日時点)(高知県農業技術センター 6月12日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月6日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月19日)、
平成29年度技術情報第3号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(鹿児島県病害虫防除所 5月29日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)
全国向こう3か月の天候の見通し・全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する近畿地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する中国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する四国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州北部(山口県含む)気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州南部・奄美地方気象情報2号(気象庁)
梅雨の時期に関する東北地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する北陸地方気象情報1号(気象庁)